

第3期旭市総合戦略策定のための
若者世代アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月

旭市

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 調査結果の見方について	1
II. 調査結果	3
1. 回答者ご自身のことについて	3
2. 進路・就職について	4
(1) 進路	4
(2) 旭市への居住希望	5
(3) 旭市への居住希望理由	6
(4) 旭市に住まない理由	8
(5) 就職を希望する地域	10
(6) 第1希望の地域を選んだ理由	12
(7) 就職を希望する業種	14
(8) 就職を決める際に重要だと思うもの	16
(9) 若い世代が旭市で働くために必要なもの	18
3. 旭市のまちづくりについて	20
(1) 旭市の将来イメージ	20
(2) 旭市が今後力を入れるべき支援	22
4. 悩みごと、家庭や学校のことについて	24
(1) 悩んだり困ったりしていること	24
(2) 相談にのってくれる人・話を聞いてくれる人	26
(3) お世話をしている人の有無	27
(4) お世話をしている人	28
5. デジタル（パソコン・スマホ等）の活用について	29
(1) 世帯で利用している情報通信機器	29
(2) インターネットの利用状況	30
(3) ご自身で利用しているインターネット接続情報機器	31
(4) インターネットの利用目的	32
(5) インターネットを利用した行政情報の収集や行政手続き	34
6. 自由意見	35
(1) 基本目標別件数	35
(2) 主な意見（要旨）・キーワード	36
【参考資料】 アンケート調査票	38

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、第3期旭市総合戦略の策定にあたり、未来を担う若者世代の皆さんの意見等を収集し、策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：市内の平成17年（2005年）4月2日～平成20年（2008年）4月1日までの間に生まれた方
- 抽 出 方 法：調査対象より1,000名を無作為抽出
- 調 査 内 容：1. 回答者自身のことについて
2. 進路・就職について
3. 旭市のまちづくりについて
4. 悩みごと、家庭や学校のことについて
5. デジタル（パソコン・スマホ等）の活用について
- 調 査 期 間：令和5年（2023年）8月4日～8月21日
- 調 査 方 法：郵送配布、郵送・WEB回収
- 配 布 ・ 回 収：配布数 1,000 票
回収数 206 票
回収率 20.6%

3. 調査結果の見方について

調査結果の数値は、原則として回答率を構成比（%）として表記しており、小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合（99.9%、100.1%）があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問＜複数回答＞では、一般的に回答率は100.0%を上回ります。

- ・ 本文やグラフ、数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- ・ 本文中の「n」はその設問の有効回答数を示します。
- ・ 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。

II. 調査結果

1. 回答者ご自身のことについて

回答者の属性は以下の通りとなっています。

図表 1 基本属性

		件数	構成比(%)
問1 性別	男性	105	51.0
	女性	94	45.6
	答えたくない(無回答)	7	3.4
問2 年齢	16歳	80	38.8
	17歳	69	33.5
	18歳	56	27.2
	無回答	1	0.5
問3 就学・ 就職状況	高校生	204	99.0
	専門(専修)学校	0	0.0
	就職している	0	0.0
	その他	1	0.5
	無回答	1	0.5

2. 進路・就職について

(1) 進路

【問4】進路についておたずねします。(○は1つ)

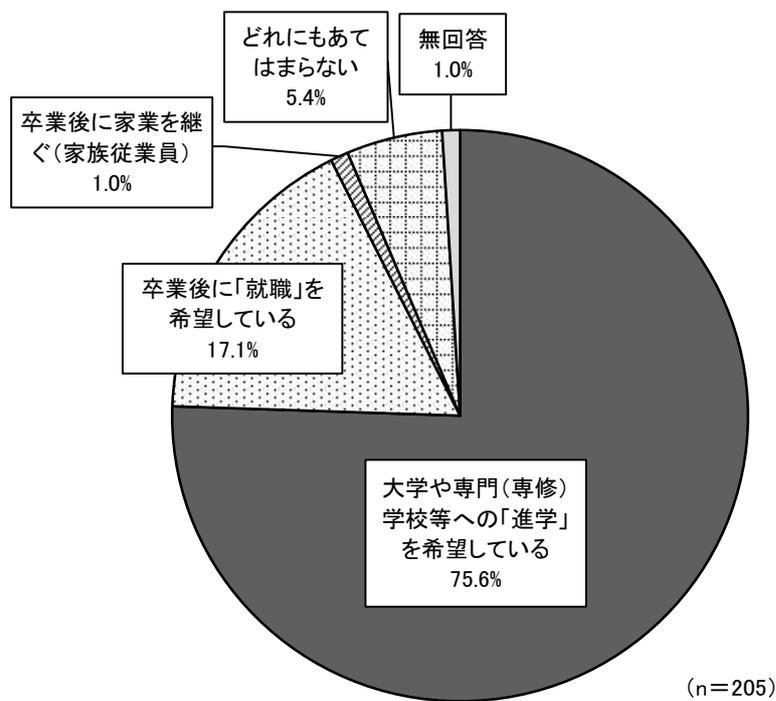
※問3で「高校生」「専門(専修)学校」「その他」と回答した方が対象

就学中の方の進路希望は、「大学や専門(専修)学校等への『進学』を希望している」が75.6%と最も多く、次いで「卒業後に『就職』を希望している(17.1%)」、「どちらにもあてはまらない(5.4%)」の順となっています。

属性別にみると、「大学や専門(専修)学校等への『進学』を希望している」の割合は、「女性(85.1%)」が「男性(68.6%)」を上回っています。

年齢別では、「大学や専門(専修)学校等への『進学』を希望している」の割合は、「17歳(79.7%)」、「16歳(73.8%)」、「18歳(73.2%)」となっています。

図表2 進路について



図表3 進路について(クロス集計)

(単位: %)

		件数	大学や専門(専修)学校等への「進学」を希望している	卒業後に「就職」を希望している	卒業後に家業を継ぐ(家族従業員)	どちらにもあてはまらない
全体		205	75.6	17.1	1.0	5.4
性別	男性	105	68.6	21.9	1.9	6.7
	女性	94	85.1	10.6	0.0	3.2
年齢	16歳	80	73.8	17.5	0.0	8.8
	17歳	69	79.7	13.0	1.4	4.3
	18歳	56	73.2	21.4	1.8	1.8
経年	前回(R元年)	310	77.4	19.7	0.0	1.6

(2) 旭市への居住希望

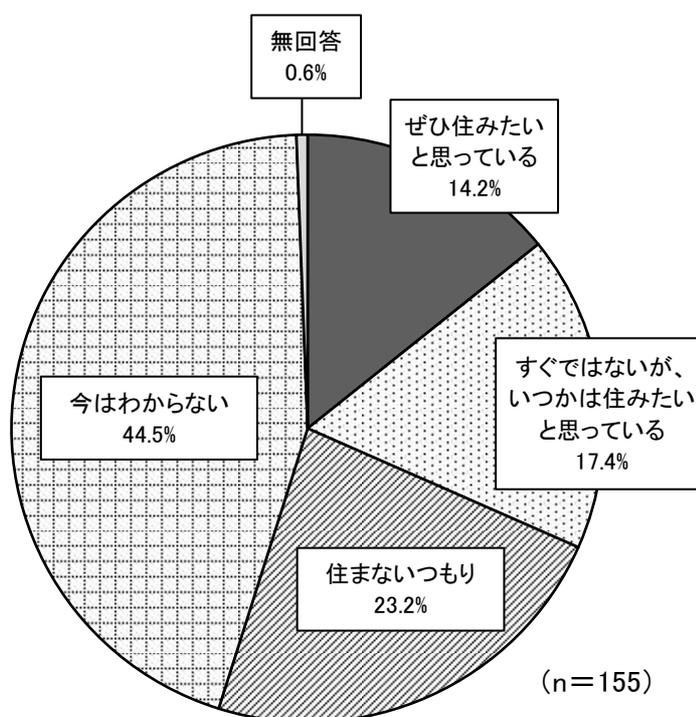
【問5】 進学し、卒業したあと、旭市に住みたいと思いますか。(○は1つ)
 ※問3で「高校生」「専門(専修)学校」「その他」と回答した方が対象

進学、卒業後の居留意向は、「今はわからない」が44.5%で最も高く、次いで「住まないつもり(23.2%)」、「すぐではないが、いつかは住みたいと思っている(17.4%)」、「ぜひ住みたいと思っている(14.2%)」の順となっています。

属性別にみると、「ぜひ住みたいと思っている」の割合は、「女性(18.8%)」が「男性(9.7%)」を上回っています。

年齢別では、「ぜひ住みたいと思っている」の割合は、「17歳(20.0%)」、「18歳(14.6%)」が高くなっています。

図表4 居留意向



図表5 居留意向(クロス集計)

(単位: %)

		件数	ぜひ住みたい と思っている	すぐではないが、 いつかは住みた いと思っている	住まないつもり	今はわからない
全体		155	14.2	17.4	23.2	44.5
性別	男性	72	9.7	15.3	22.2	52.8
	女性	80	18.8	18.8	23.8	37.5
年齢	16歳	59	8.5	16.9	23.7	49.2
	17歳	55	20.0	14.5	23.6	41.8
	18歳	41	14.6	22.0	22.0	41.5
経年	前回(R元年)	240	17.5	15.0	20.4	45.0

(3) 旭市への居住希望理由

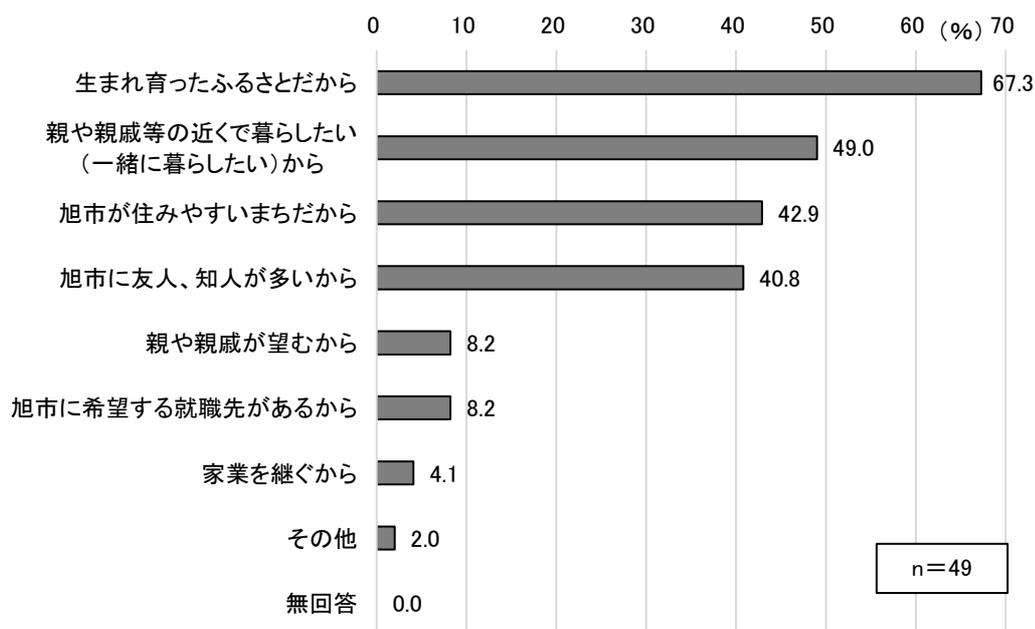
【問6】旭市に住みたい理由は何ですか。(〇は3つまで)
※問5で「ぜひ住みたい」「すぐではないが、いつかは住みたい」と回答した方が対象

旭市に住みたい理由は、「生まれ育ったふるさとだから」が67.3%で最も高く、次いで「親や親戚等の近くで暮らしたい(一緒に暮らしたい)から(49.0%)」、「旭市が住みやすいまちだから(42.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「生まれ育ったふるさとだから」における「男性(88.9%)」、「16歳(80.0%)」、「親や親戚等の近くで暮らしたい(一緒に暮らしたい)から」における「17歳(63.2%)」、「女性(60.0%)」などが高くなっています。

前回調査との比較では、「旭市に友人、知人が多いから(40.8%)」が前回調査(53.8%)を大きく下回っています。

図表6 旭市に住みたい理由



図表 7 旭市に住みたい理由（クロス集計）

(単位:%)

		件数	生まれ育ったふるさとだから	親や親戚等の近くで暮らしたい (一緒に暮らしたい)から	旭市が住みやすいまちだから	旭市に友人、知人が多いから	親や親戚が望むから	旭市に希望する就職先があるから	家業を継ぐから
全体		49	67.3	49.0	42.9	40.8	8.2	8.2	4.1
性別	男性	18	88.9	33.3	44.4	38.9	5.6	0.0	11.1
	女性	30	53.3	60.0	40.0	43.3	10.0	13.3	0.0
年齢	16歳	15	80.0	40.0	40.0	40.0	6.7	6.7	0.0
	17歳	19	73.7	63.2	36.8	42.1	0.0	15.8	10.5
	18歳	15	46.7	40.0	53.3	40.0	20.0	0.0	0.0
経年	前回(R元年)	78	61.5	51.3	32.1	53.8	9.0	11.5	2.6

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(4) 旭市に住まない理由

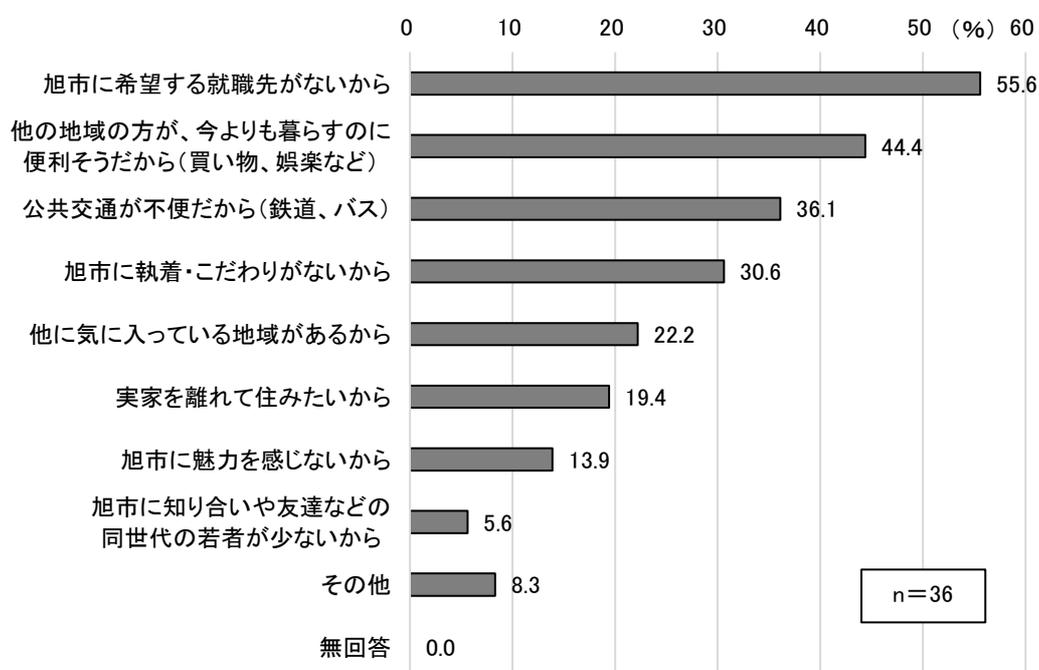
【問7】旭市に住まない理由は何ですか。(○は3つまで)

※問5で「住まないつもり」と答えた方が対象

旭市に住まない理由は、「旭市に希望する就職先がないから」が55.6%で最も高く、次いで「他の地域の方が、今よりも暮らすのに便利そうだから(買い物、娯楽など)(44.4%)」、「公共交通が不便だから(鉄道、バス)(36.1%)」の順となっています。

属性別にみると、「他の地域の方が、今よりも暮らすのに便利そうだから(買い物、娯楽など)」における「女性(57.9%)」、「公共交通が不便だから(鉄道、バス)」における「女性(47.4%)」、「実家を離れて住みたいから」における「18歳(33.3%)」などが高くなっています。

図表 8 旭市に住まない理由



図表 9 旭市に住まない理由（クロス集計）

(単位: %)

		件数	旭市に希望する就職先がないから	他の地域の方が、今よりも暮らすのに便利そうだから	公共交通が不便だから (鉄道、バス)	旭市に執着・こだわりがないから	他に気に入っている地域があるから	実家を離れて住みたいから	旭市に魅力を感じないから	旭市に知り合いや友達などの同世代の若者が少ないから
全体		36	55.6	44.4	36.1	30.6	22.2	19.4	13.9	5.6
性別	男性	16	50.0	31.3	25.0	31.3	25.0	25.0	25.0	6.3
	女性	19	57.9	57.9	47.4	31.6	21.1	15.8	5.3	5.3
年齢	16歳	14	57.1	50.0	28.6	35.7	28.6	7.1	7.1	14.3
	17歳	13	53.8	38.5	38.5	23.1	15.4	23.1	15.4	0.0
	18歳	9	55.6	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0
経年	前回(R元年)	49	63.3	51.0	44.9	26.5	4.1	20.4	16.3	0.0

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

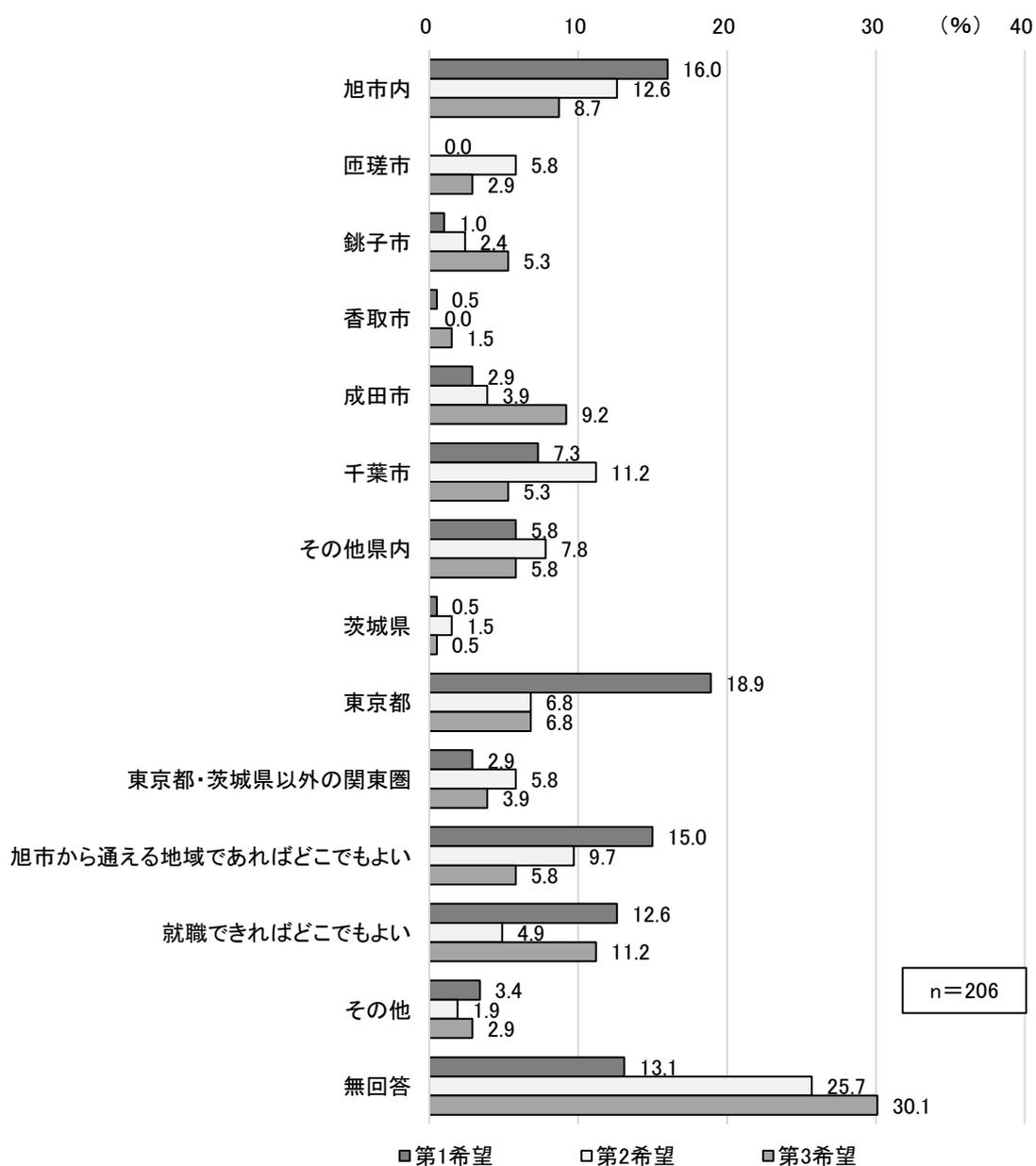
(5) 就職を希望する地域

【問8】 就職を希望する「地域」はどこですか。(〇は1つ)

就職を希望する地域について、第1希望では「東京都」が18.9%、第2希望では「旭市内」が12.6%、第3希望では「就職できればどこでもよい」が11.2%で最も高くなっています。

前回調査との比較では、第1希望で「旭市内(16.0%)」と回答した割合が前回調査(26.5%)を大きく下回りました。

図表 10 就職を希望する地域



図表 11 就職を希望する地域【第1希望】(クロス集計)

(単位:%)

		件数	旭市内	匝瑳市	銚子市	香取市	成田市	千葉市	その他県内	茨城県	東京都	東京都・茨城県以外の関東圏	旭市から通える地域であればどこでもよい	就職できればどこでもよい
全体		206	16.0	0.0	1.0	0.5	2.9	7.3	5.8	0.5	18.9	2.9	15.0	12.6
性別	男性	105	15.2	0.0	1.9	1.0	1.0	6.7	7.6	1.0	19.0	1.9	15.2	14.3
	女性	94	18.1	0.0	0.0	0.0	4.3	7.4	4.3	0.0	19.1	4.3	14.9	10.6
年齢	16歳	80	12.5	0.0	1.3	0.0	2.5	5.0	8.8	0.0	22.5	3.8	17.5	12.5
	17歳	69	17.4	0.0	0.0	1.4	1.4	7.2	4.3	1.4	20.3	2.9	14.5	15.9
	18歳	56	19.6	0.0	1.8	0.0	5.4	10.7	3.6	0.0	12.5	1.8	12.5	8.9
経年	前回(R元年)	310	26.5	0.3	0.0	0.0	4.5	10.6	3.5	0.6	19.4	4.2	12.9	9.7

今回調査：その他県内
 前回調査：その他（3.5%）

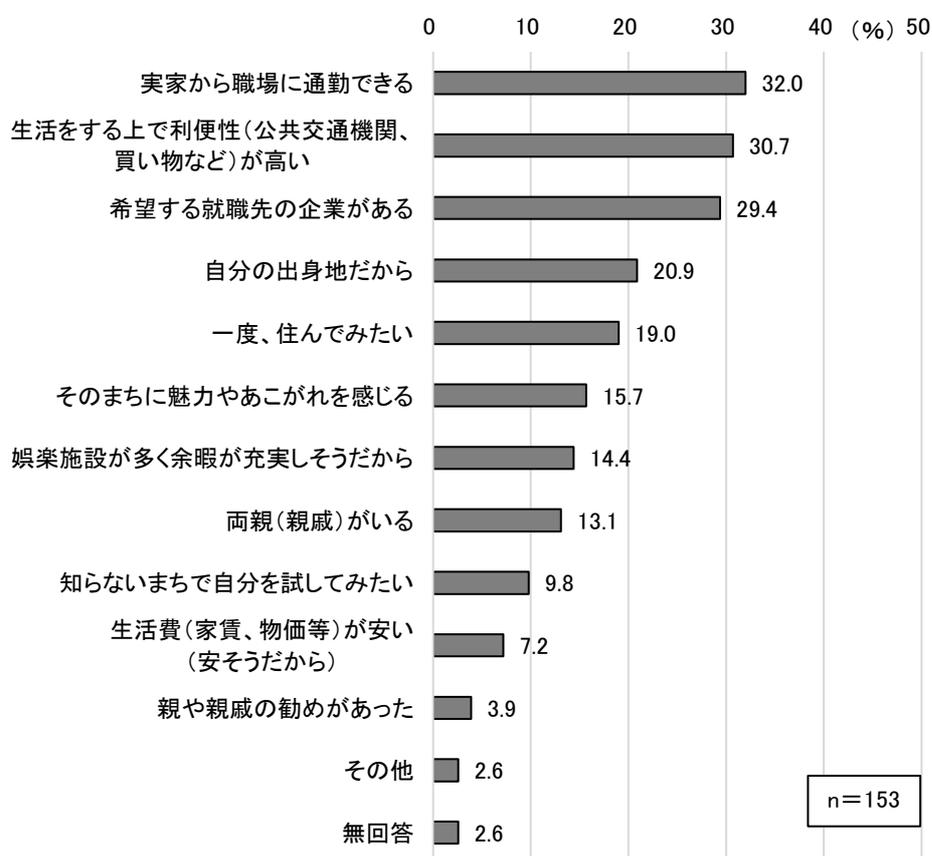
(6) 第1希望の地域を選んだ理由

【問9】問8で第1希望の地域を選んだ理由は何ですか。(○は3つまで)
 ※問8で「就職できればどこでもよい」以外を選択した方が対象

居住先として第1希望の地域を選んだ理由は、「実家から職場に通勤できる」が32.0%で最も高く、次いで「生活をする上で利便性(公共交通機関、買い物など)が高い(30.7%)」、「希望する就職先の企業がある(29.4%)」の順となっています。

属性別にみると、「実家から職場に通勤できる」における「女性(35.2%)」、「18歳(35.7%)」、「希望する就職先の企業がある」における「18歳(35.7%)」などが高くなっています。

図表 12 第1希望の地域を選んだ理由



図表 13 第1希望の地域を選んだ理由（クロス集計）

(単位:%)

		件数	実家から職場に通勤できる	生活をする上で利便性（公共交通機関、買い物など）が高い	希望する就職先の企業がある	自分の出身地だから	一度、住んでみたい	そのまちに魅力やあこがれを感じる	娯楽施設が多く余暇が充実しそうだから	両親（親戚）がいる	知らないまちで自分を試してみたい	生活費（家賃、物価等）が安い（安そうだから）	親や親戚の勧めがあった
全体		153	32.0	30.7	29.4	20.9	19.0	15.7	14.4	13.1	9.8	7.2	3.9
性別	男性	77	31.2	35.1	27.3	23.4	19.5	10.4	14.3	13.0	9.1	10.4	1.3
	女性	71	35.2	25.4	32.4	18.3	19.7	21.1	14.1	14.1	9.9	4.2	7.0
年齢	16歳	61	34.4	34.4	23.0	19.7	21.3	16.4	11.5	9.8	13.1	9.8	3.3
	17歳	50	26.0	30.0	32.0	20.0	22.0	14.0	18.0	22.0	6.0	6.0	0.0
	18歳	42	35.7	26.2	35.7	23.8	11.9	16.7	14.3	7.1	9.5	4.8	9.5
経年	前回(R元年)	286	23.4	38.8	27.3	17.8	9.4	15.4	16.4	14.3	8.7	3.1	3.8

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

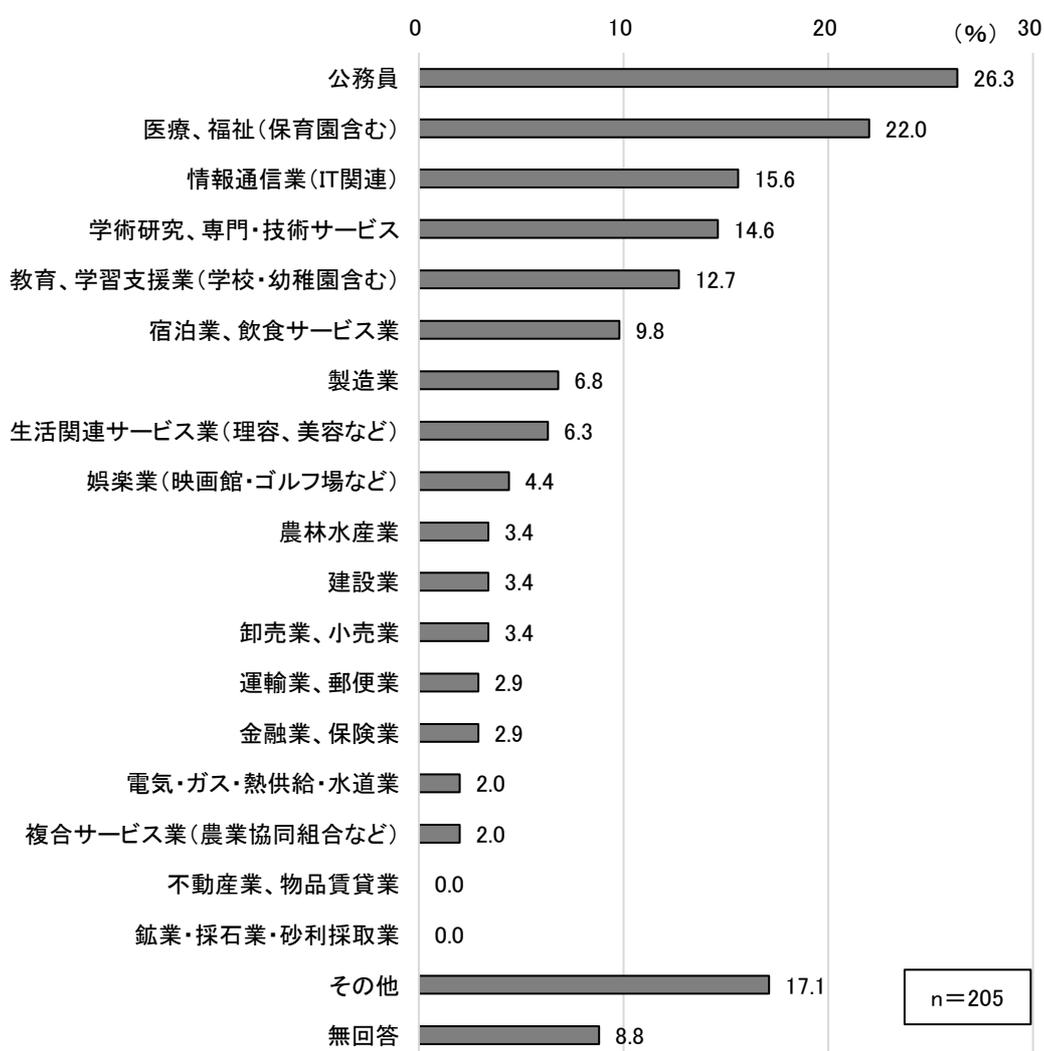
(7) 就職を希望する業種

【問 10】 将来、あなたが就職を希望する業種は何ですか。(○は3つまで)
 ※問 3 で「高校生」「専門(専修)学校」「その他」と回答した方が対象

就職を希望する業種は、「公務員」が 26.3% で最も高く、次いで「医療、福祉(保育園を含む)(22.0%)」、「情報通信業(IT関連)(15.6%)」の順となっています。

属性別にみると、「公務員(男性:28.6%、女性:24.5%)」や「情報通信業(IT関連)(男性:21.0%、女性:9.6%)」などで男性が女性を上回っています。一方、「医療、福祉(男性:17.1%、女性:27.7%)」などでは女性が男性を上回っています。

図表 14 就職を希望する業種



図表 15 就職を希望する業種（クロス集計） ※上位 10 項目

(単位: %)

		件数	公務員	医療、福祉 (保育園含む)	情報通信業 (IT関連)	学術研究、専門・技術サービス	教育、学習支援業 (学校・幼稚園含む)	宿泊業、飲食サービス業	製造業	生活関連サービス業 (理容、美容など)	娯楽業 (映画館・ゴルフ場など)	農林水産業
全体		205	26.3	22.0	15.6	14.6	12.7	9.8	6.8	6.3	4.4	3.4
性別	男性	105	28.6	17.1	21.0	19.0	10.5	4.8	11.4	1.9	4.8	6.7
	女性	94	24.5	27.7	9.6	10.6	16.0	14.9	1.1	11.7	4.3	0.0
年齢	16歳	80	32.5	25.0	16.3	18.8	11.3	8.8	10.0	10.0	8.8	1.3
	17歳	69	18.8	18.8	17.4	11.6	14.5	8.7	4.3	2.9	2.9	5.8
	18歳	56	26.8	21.4	12.5	12.5	12.5	12.5	5.4	5.4	0.0	3.6
経年	前回(R元年)	310	26.5	28.7	12.3	11.6	19.4	8.1	8.7	-	-	1.9

(注) 経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

<p>今回調査：生活関連サービス業と娯楽業を別建て 前回調査：生活関連サービス業・娯楽業 (8.1%)</p>
--

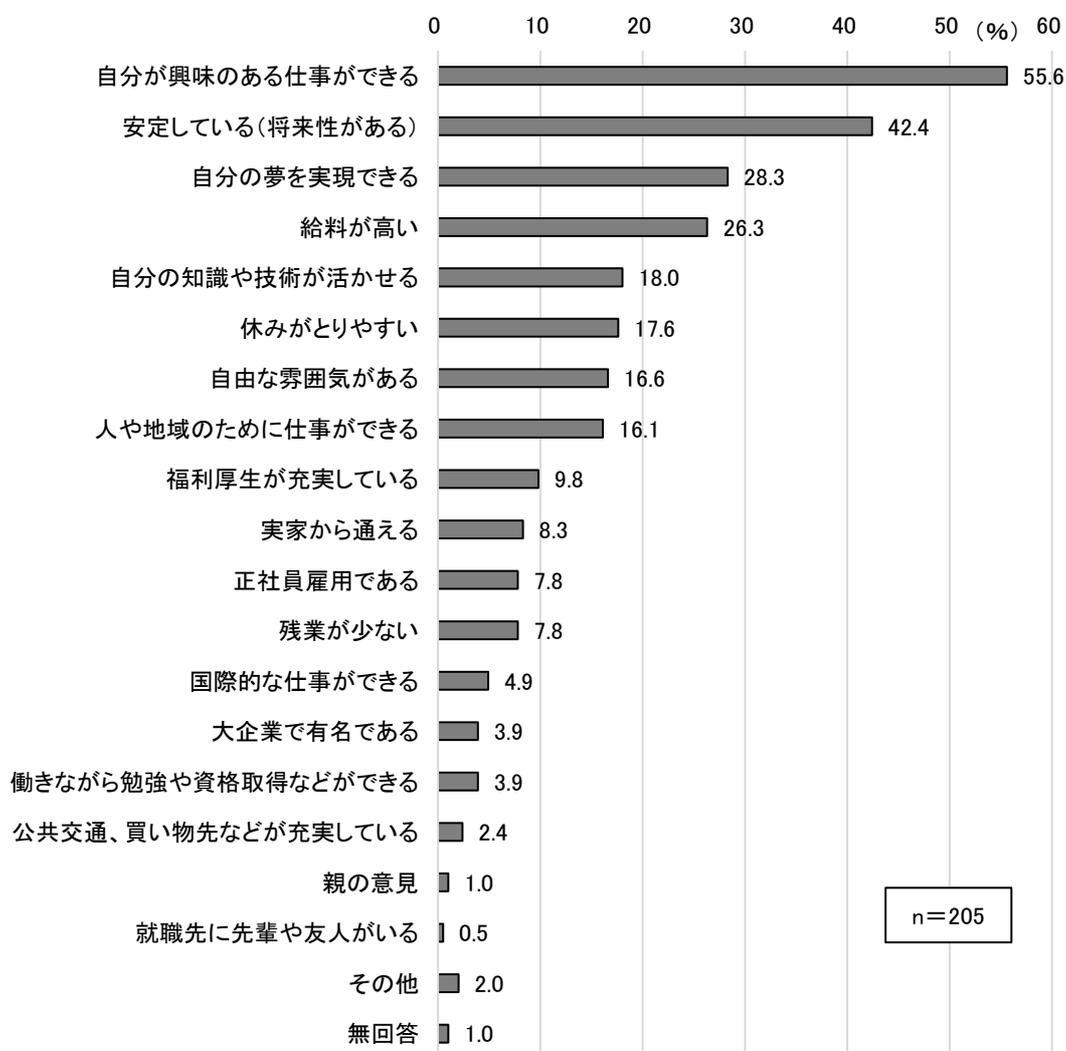
(8) 就職を決める際に重要だと思うもの

【問 11】 将来、就職先を決める際に重要だと思うものは何ですか。(○は3つまで)
 ※問 3 で「高校生」「専門(専修)学校」「その他」と回答した方が対象

就職を決める際に重要だと思うものは、「自分が興味のある仕事ができる」が 55.6%で最も高く、次いで「安定している(将来性がある)(42.4%)」、「自分の夢を実現できる(28.3%)」の順となっています。

属性別にみると、「自分が興味のある仕事ができる」における「男性(61.9%)」、「16歳(57.5%)」、「安定している(将来性がある)」における「男性(47.6%)」、「16歳(46.3%)」などが高くなっています。

図表 16 就職先を決める際に重要だと思うもの



図表 17 就職先を決める際に重要だと思うもの（クロス集計）※上位 10 項目

(単位: %)

		件数	自分が興味のある仕事ができる	安定している (将来性がある)	自分の夢を実現できる	給料が高い	自分の知識や技術が活かせる	休みがとりやすい	自由な雰囲気がある	人や地域のために仕事ができる	福利厚生が充実している	実家から通える
全体		205	55.6	42.4	28.3	26.3	18.0	17.6	16.6	16.1	9.8	8.3
性別	男性	105	61.9	47.6	25.7	24.8	18.1	19.0	19.0	13.3	8.6	5.7
	女性	94	50.0	36.2	33.0	28.7	18.1	16.0	12.8	19.1	11.7	11.7
年齢	16歳	80	57.5	46.3	27.5	30.0	17.5	20.0	18.8	13.8	10.0	6.3
	17歳	69	53.6	37.7	33.3	24.6	17.4	17.4	15.9	11.6	8.7	11.6
	18歳	56	55.4	42.9	23.2	23.2	19.6	14.3	14.3	25.0	10.7	7.1
経年	前回(R元年)	310	50.0	50.0	26.1	22.3	16.1	23.5	12.6	13.9	-	7.4

(9) 若い世代が旭市で働くために必要なもの

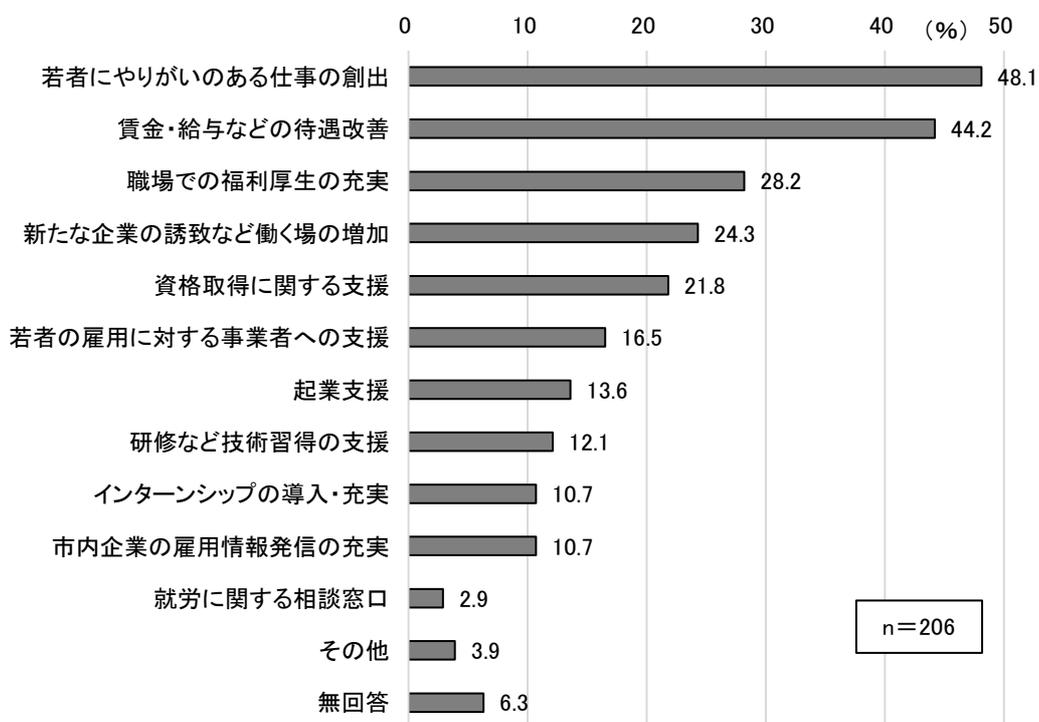
【問 12】 若い世代が旭市で働くために必要なものは何だと思えますか。(〇は3つまで)

若い世代が旭市で働くために必要なものは、「若者にやりがいのある仕事の創出」が48.1%で最も高く、次いで「賃金・給与などの待遇改善(44.2%)」、「職場での福利厚生 の充実(28.2%)」の順となっています。

属性別にみると、「若者にやりがいのある仕事の創出」における「16歳(60.0%)」などが高くなっています。

前回調査と比較すると、「若者にやりがいのある仕事の創出(48.1%)」は、前回調査(60.0%)を大きく下回っています。

図表 18 若い世代が旭市で働くために必要なもの



図表 19 若い世代が旭市で働くために必要なもの（クロス集計）

（単位：％）

		件数	若者にやりがいいのある仕事の創出	賃金・給与などの待遇改善	職場での福利厚生 の充実	新たな企業の誘致など働く場の増加	資格取得に関する支援	若者の雇用に対する事業者への支援	起業支援	研修など技術習得の支援	インターンシップの導入・充実	市内企業の雇用情報発信の充実	就労に関する相談窓口
全体		206	48.1	44.2	28.2	24.3	21.8	16.5	13.6	12.1	10.7	10.7	2.9
性別	男性	105	50.5	43.8	28.6	21.0	22.9	19.0	20.0	10.5	8.6	10.5	2.9
	女性	94	46.8	45.7	27.7	28.7	21.3	11.7	6.4	13.8	12.8	11.7	3.2
年齢	16歳	80	60.0	42.5	31.3	15.0	20.0	13.8	21.3	10.0	11.3	11.3	3.8
	17歳	69	43.5	46.4	26.1	33.3	20.3	13.0	8.7	13.0	11.6	13.0	1.4
	18歳	56	37.5	42.9	26.8	26.8	25.0	23.2	8.9	14.3	8.9	7.1	3.6
経年	前回(R元年)	310	60.0	52.3	26.1	22.6	-	21.6	-	16.8	8.4	9.0	-

（注1）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

（注2）経年比較は選択肢の内容が一部異なる項目がある

3. 旭市のまちづくりについて

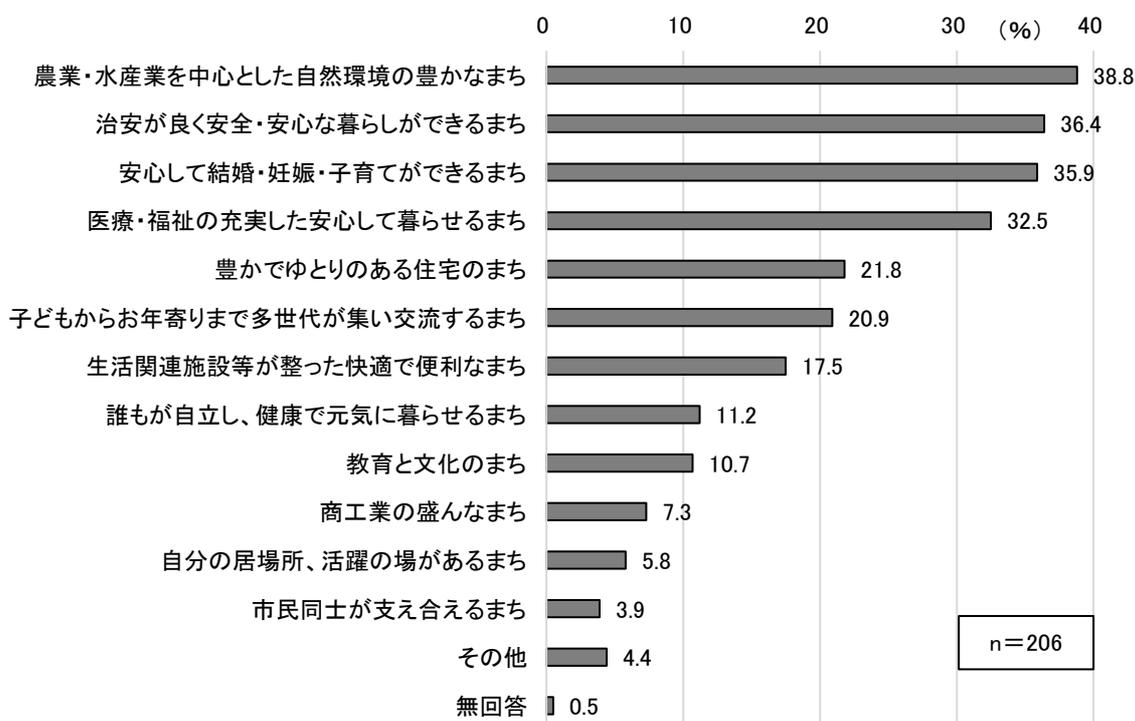
(1) 旭市の将来イメージ

【問 13】 旭市の将来イメージとしてどれがふさわしいと思いますか。(○は3つまで)

旭市の将来イメージは、「農業・水産業を中心とした自然環境の豊かなまち」が38.8%で最も高く、次いで「治安が良く安全・安心な暮らしができるまち(36.4%)」、「安心して結婚・妊娠・子育てができるまち(35.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「農業・水産業を中心とした自然環境の豊かなまち」における「男性(41.0%)」、「16歳(45.0%)」、「治安が良く安全・安心な暮らしができるまち」における「女性(40.4%)」、「16歳(41.3%)」、「17歳(40.6%)」などが高くなっています。

図表 20 旭市の将来イメージ (MA)



図表 21 旭市の将来イメージ（クロス集計）

（単位：％）

		件数	農業・水産業を中心とした 自然環境の豊かなまち	治安が良く安全・安心な 暮らしができるまち	安心して結婚・妊娠・子育てが できるまち	医療・福祉の充実した安心して 暮らせるまち	豊かでゆとりのある住宅のまち	多世代が集い交流するまち	子どもからお年寄りまで 快適で便利なまち	生活関連施設等が整った 健康で元気に暮らせるまち	誰もが自立し、 教育と文化のまち	商工業の盛んなまち	自分の居場所、活躍の場が あるまち	市民同士が支え合えるまち
全体		206	38.8	36.4	35.9	32.5	21.8	20.9	17.5	11.2	10.7	7.3	5.8	3.9
性別	男性	105	41.0	33.3	33.3	35.2	26.7	17.1	20.0	10.5	6.7	6.7	4.8	4.8
	女性	94	36.2	40.4	37.2	28.7	18.1	26.6	13.8	11.7	13.8	8.5	7.4	2.1
年齢	16歳	80	45.0	41.3	36.3	33.8	26.3	26.3	7.5	10.0	7.5	3.8	2.5	2.5
	17歳	69	37.7	40.6	37.7	31.9	24.6	17.4	23.2	11.6	11.6	11.6	10.1	2.9
	18歳	56	30.4	25.0	33.9	30.4	12.5	17.9	25.0	12.5	12.5	7.1	5.4	7.1

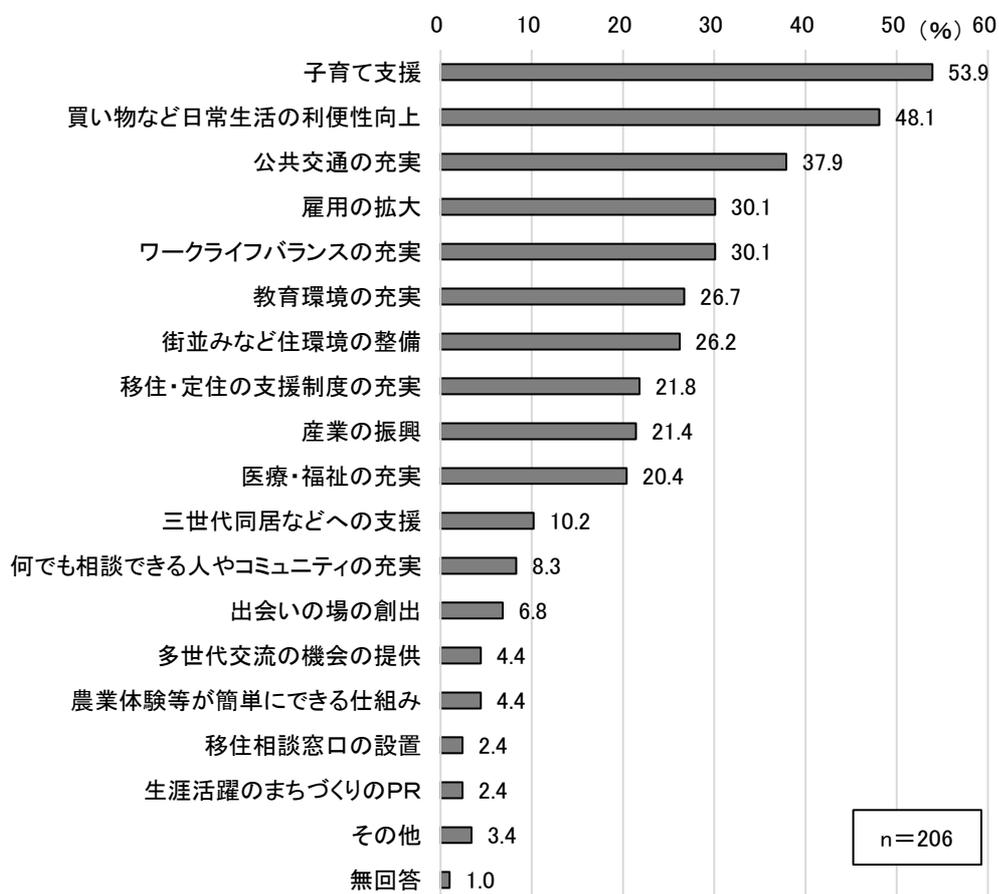
(2) 旭市が今後力を入れるべき支援

【問 14】「人口を増やす（出生数増加・移住促進）」ため、また「人口の流出を防ぐ（定住促進）」ため、旭市が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。（○は5つまで）

旭市が今後力を入れるべき支援は、「子育て支援」が53.9%で最も高く、次いで「買い物など日常生活の利便性向上（48.1%）」、「公共交通の充実（37.9%）」の順となっています。

属性別にみると、「移住・定住の支援制度の充実」における「18歳（32.1%）」などが高くなっています。

図表 22 旭市が今後力を入れるべき支援



図表 23 旭市が今後力を入れるべき支援（クロス集計）※上位 10 項目

(単位: %)

		件数	子育て支援	買い物など日常生活の 利便性向上	公共交通の充実	雇用の拡大	ワークライフバランスの充実	教育環境の充実	街並みなど住環境の整備	移住・定住の支援制度の充実	産業の振興	医療・福祉の充実
全体		206	53.9	48.1	37.9	30.1	30.1	26.7	26.2	21.8	21.4	20.4
性別	男性	105	50.5	47.6	41.9	31.4	25.7	28.6	24.8	21.9	23.8	19.0
	女性	94	59.6	48.9	31.9	28.7	35.1	24.5	27.7	22.3	18.1	23.4
年齢	16歳	80	60.0	50.0	32.5	22.5	33.8	26.3	25.0	15.0	15.0	22.5
	17歳	69	52.2	55.1	44.9	30.4	27.5	31.9	23.2	20.3	26.1	21.7
	18歳	56	48.2	37.5	35.7	39.3	28.6	21.4	32.1	32.1	23.2	16.1

(注) 網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

前回調査と下記6項目比較可能ですが、上位10項目中2項目なので割愛しています。

(前回選択肢)	(今回選択肢)
転入者に対する支援	→ 移住・定住の支援制度の充実
子育て世代への支援	→ 子育て支援
転入に関する相談窓口の設置	→ 移住相談窓口の設置
地域コミュニティの充実	→ 何でも相談できる人や地域コミュニティの充実
二世帯住宅、三世帯同居などへの支援	→ 三世帯同居などへの支援
生涯活躍のまちづくりのPR	→ 生涯活躍のまちづくりのPR

4. 悩みごと、家庭や学校のことについて

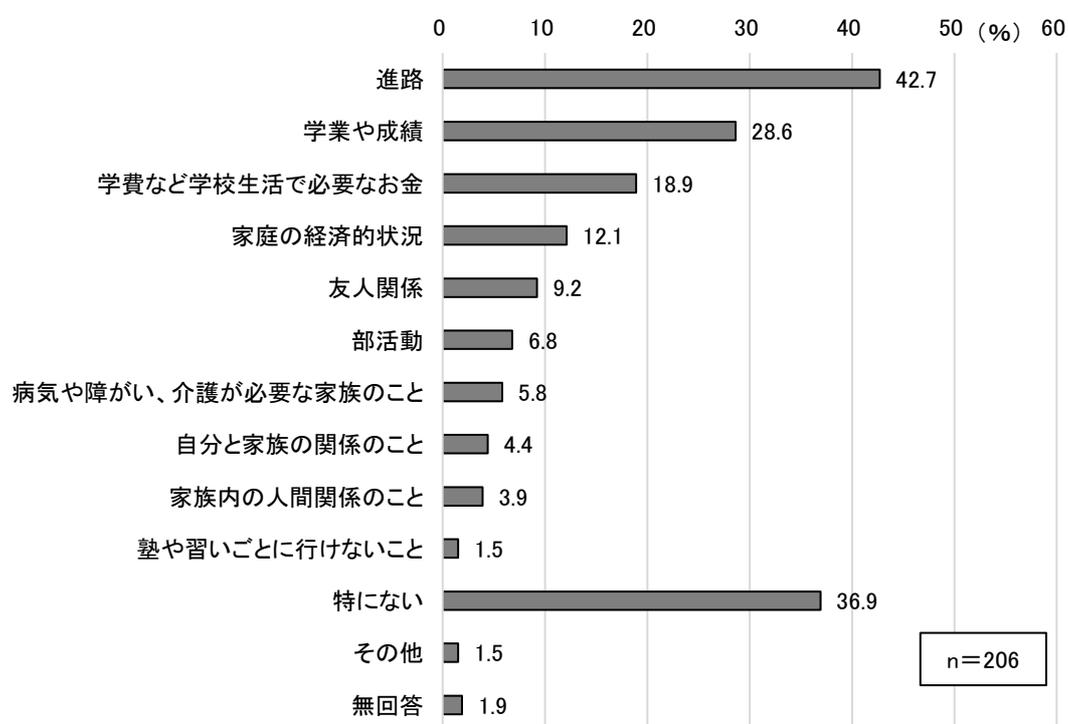
(1) 悩んだり困ったりしていること

【問 15】現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(〇はいくつでも)

悩んだり困ったりしていることは、「進路」が42.7%で最も高く、次いで「学業や成績(28.6%)」、「学費など学校生活で必要なお金(18.9%)」の順となっています。「特にない」は、36.9%となっています。

属性別にみると、「進路」における「女性(47.9%)」、「16歳(45.0%)」、「特にない」における「男性(45.7%)」などが高くなっています。

図表 24 悩んだり困ったりしていること



図表 25 悩んだり困ったりしていること（クロス集計）

（単位：％）

		件数	進路	学業や成績	学費など学校生活で 必要なお金	家庭の経済的状況	友人関係	部活動	病気や障がい、介護が必要な 家族のこと	自分と家族の関係のこと	家族内の人間関係のこと	塾や習いごとに行けないこと	特にない
全体		206	42.7	28.6	18.9	12.1	9.2	6.8	5.8	4.4	3.9	1.5	36.9
性別	男性	105	38.1	21.9	14.3	10.5	6.7	6.7	3.8	1.9	1.9	0.0	45.7
	女性	94	47.9	36.2	23.4	13.8	12.8	7.4	8.5	7.4	5.3	3.2	27.7
年齢	16歳	80	45.0	31.3	15.0	10.0	16.3	7.5	3.8	2.5	1.3	0.0	36.3
	17歳	69	40.6	23.2	23.2	11.6	4.3	10.1	7.2	4.3	5.8	1.4	39.1
	18歳	56	42.9	32.1	19.6	16.1	5.4	1.8	7.1	7.1	5.4	3.6	35.7

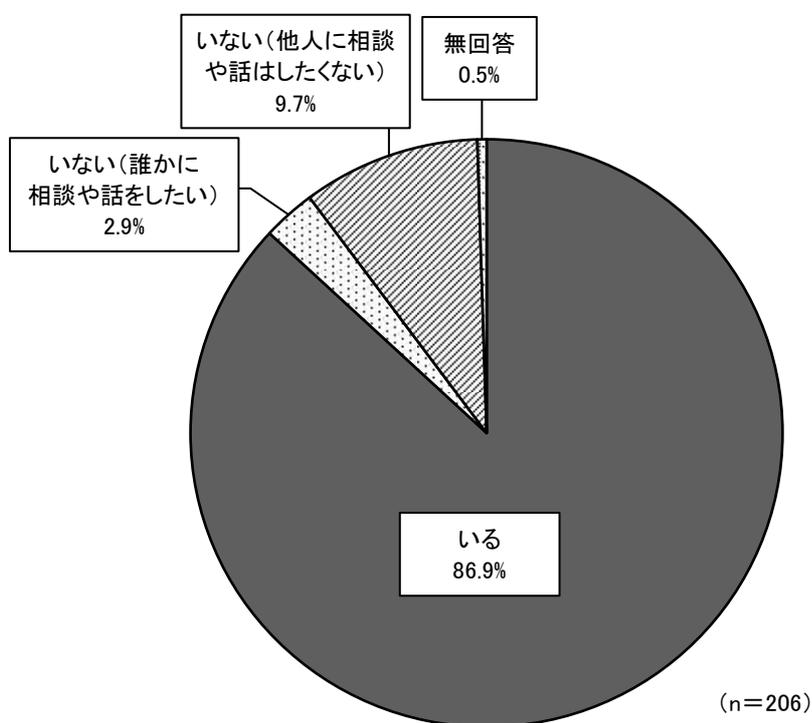
(2) 相談にのってくれる人・話を聞いてくれる人

【問 16】 悩みや困りごとについて、相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人はいいますか。(○は1つ)

相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人はいるかについては、「いる」が86.9%で最も高く、次いで「いない(他人に相談や話はしたくない)(9.7%)」、「いない(誰かに相談や話をしたい)(2.9%)」の順となっています。

属性別にみると、「いる」における「男性(88.6%)」、「16歳(88.8%)」などが高くなっています。

図表 26 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人はいるか



図表 27 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人はいるか (クロス集計)

(単位: %)

		件数	いる	いない (誰かに相談や話をしたい)	いない (他人に相談や話はしたくない)
全体		206	86.9	2.9	9.7
性別	男性	105	88.6	1.0	9.5
	女性	94	85.1	4.3	10.6
年齢	16歳	80	88.8	2.5	8.8
	17歳	69	85.5	4.3	10.1
	18歳	56	85.7	1.8	10.7

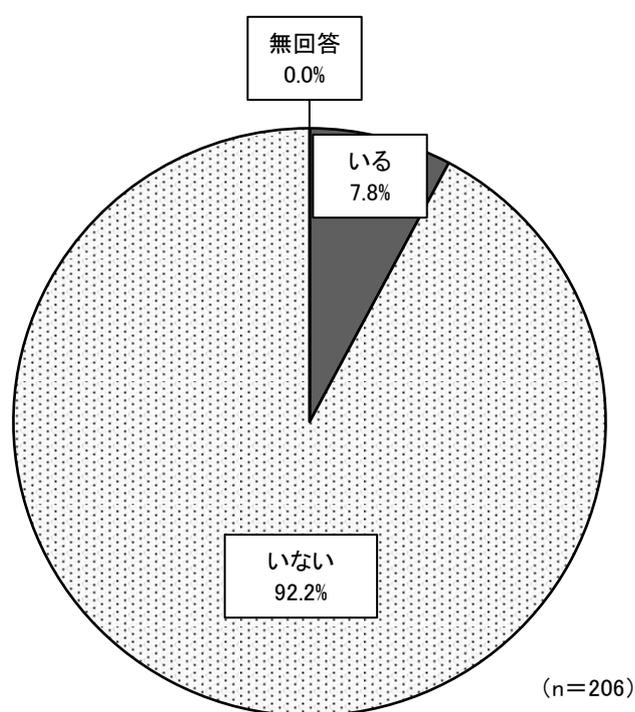
(3) お世話をしている人の有無

【問 17】 家族の中にあなたがお世話（看病や介護等）をしている人はいますか。（○は1つ）

お世話（看病や介護等）をしている人は「いる」が7.8%、「いない」が92.2%となっています。

属性別にみると、「いる」における「女性（11.7%）」、「17歳（13.0%）」、「いない」における「男性（95.2%）」、「16歳（98.8%）」などが高くなっています。

図表 28 お世話（看病や介護等）をしている人の有無



図表 29 お世話（看病や介護等）をしている人はいるか（クロス集計）

（単位：％）

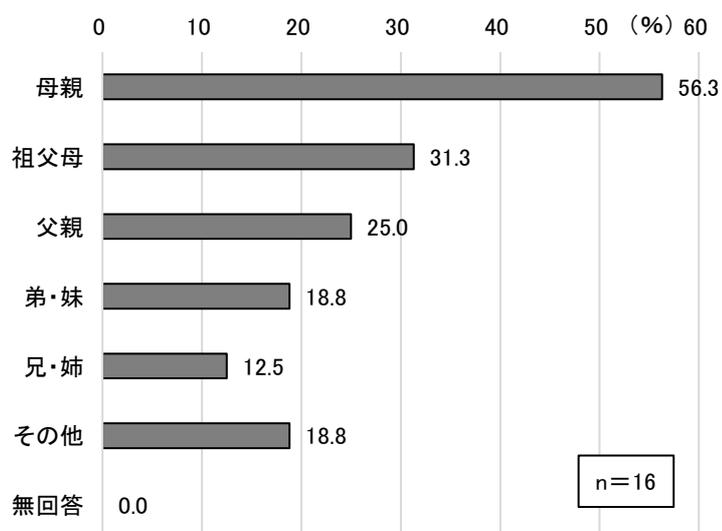
		件数	いる	いない
全体		206	7.8	92.2
性別	男性	105	4.8	95.2
	女性	94	11.7	88.3
年齢	16歳	80	1.3	98.8
	17歳	69	13.0	87.0
	18歳	56	10.7	89.3

(4) お世話をしている人

【問 18】 お世話をしている人はどなたですか。(〇はいくつでも)
※問 17 で「いる」と答えた方が対象

お世話をしている人は、「母親」が 56.3%で最も高く、次いで「祖父母 (31.3%)」、「父親 (25.0%)」の順となっています。

図表 30 お世話をしている人



5. デジタル（パソコン・スマホ等）の活用について

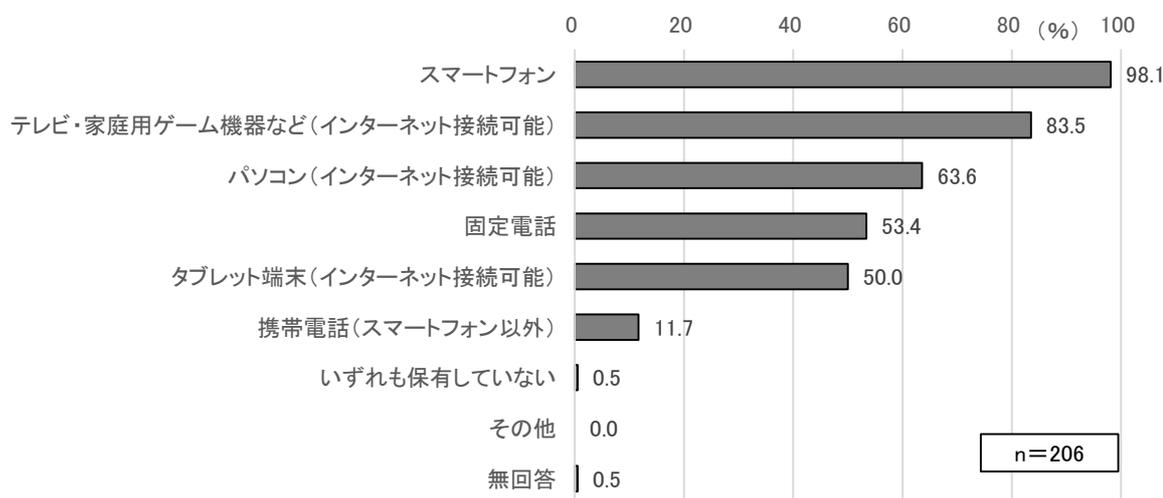
(1) 世帯で利用している情報通信機器

【問 19】 あなたの世帯で利用している情報通信機器をすべてお答えください。（〇はいくつでも）

世帯で利用している情報通信機器は、「スマートフォン」が98.1%で最も高く、次いで「テレビ・家庭用ゲーム機器など（インターネット接続可能）（83.5%）」、「パソコン（インターネット接続可能）（63.6%）」の順となっています。

属性別にみると、「テレビ・家庭用ゲーム機器など（インターネット接続可能）（男性：88.6%、女性：79.8%）」、「パソコン（インターネット接続可能）（男性：67.6%、女性：58.5%）」などで男性が女性を上回っています。

図表 31 世帯で利用している情報通信機器



図表 32 世帯で利用している情報通信機器（クロス集計）

(単位: %)

		件数	スマートフォン	テレビ・家庭用ゲーム機器など(インターネット接続可能)	パソコン(インターネット接続可能)	固定電話	タブレット端末(インターネット接続可能)	携帯電話(スマートフォン以外)	いずれも保有していない
全体		206	98.1	83.5	63.6	53.4	50.0	11.7	0.5
性別	男性	105	99.0	88.6	67.6	55.2	50.5	9.5	0.0
	女性	94	98.9	79.8	58.5	53.2	48.9	14.9	0.0
年齢	16歳	80	98.8	85.0	67.5	57.5	52.5	5.0	0.0
	17歳	69	97.1	82.6	63.8	49.3	56.5	21.7	1.4
	18歳	56	98.2	83.9	57.1	53.6	37.5	8.9	0.0

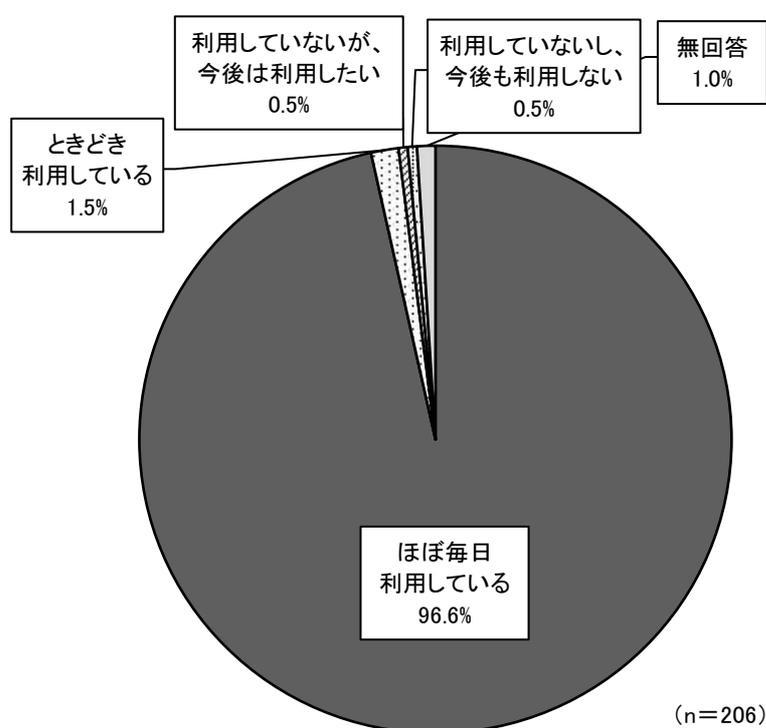
(2) インターネットの利用状況

【問 20】 あなたのインターネットの利用状況を教えてください。(○は1つ)

世帯で利用している情報通信機器は、「ほぼ毎日利用している」が96.6%で最も高く、次いで「ときどき利用している(1.5%)」、「利用していないが、今後は利用したい(0.5%)」、「利用していないし、今後も利用しない(0.5%)」の順となっています。

属性別にみると、「ほぼ毎日利用している」における「女性(98.9%)」、「18歳(98.2%)」、「16歳(97.5%)」などが高くなっています。

図表 33 インターネットの利用状況



図表 34 インターネットの利用状況 (クロス集計)

(単位: %)

		件数	ほぼ毎日 利用している	ときどき 利用している	利用していないが、 今後は利用したい	利用していないし、 今後も利用しない
全体		206	96.6	1.5	0.5	0.5
性別	男性	105	96.2	1.9	1.0	0.0
	女性	94	98.9	0.0	0.0	0.0
年齢	16歳	80	97.5	1.3	0.0	0.0
	17歳	69	94.2	2.9	1.4	1.4
	18歳	56	98.2	0.0	0.0	0.0

(3) ご自身で利用しているインターネット接続情報機器

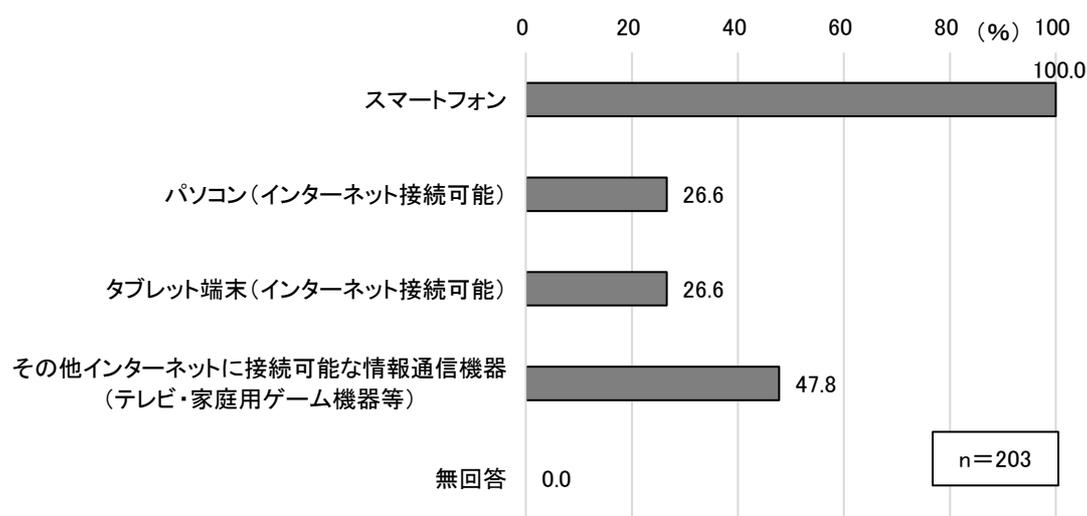
【問 21】あなたが利用しているインターネット接続情報機器を教えてください。
(〇はいくつでも)

※問 20 で「ほぼ毎日利用している」「ときどき利用している」「利用していないが、今後は利用したい」と答えた方が対象

利用しているインターネット情報通信機器は、「スマートフォン」が100.0%、次いで「その他インターネットに接続可能な情報通信機器（テレビ・家庭用ゲーム機器等）」が47.8%となっています。

属性別にみると、「スマートフォン」はすべての属性で100.0%となっています。性別では、「パソコン（男性：29.8%、女性：21.5%）」、「タブレット端末（男性：28.8%、女性：24.7%）」、「その他インターネットに接続可能な情報通信機器（テレビ・家庭用ゲーム機器等）」（男性：49.0%、女性：45.2%）」いずれも男性が女性を上回っています。

図表 35 利用しているインターネット接続情報機器



図表 36 利用しているインターネット接続情報機器（クロス集計）

(単位: %)

		件数	スマートフォン	パソコン(インターネット接続可能)	タブレット端末(インターネット接続可能)	その他インターネットに接続可能な情報通信機器(テレビ・家庭用ゲーム機器等)
全体		203	100.0	26.6	26.6	47.8
性別	男性	104	100.0	29.8	28.8	49.0
	女性	93	100.0	21.5	24.7	45.2
年齢	16歳	79	100.0	27.8	30.4	57.0
	17歳	68	100.0	23.5	30.9	45.6
	18歳	55	100.0	27.3	16.4	38.2

(4) インターネットの利用目的

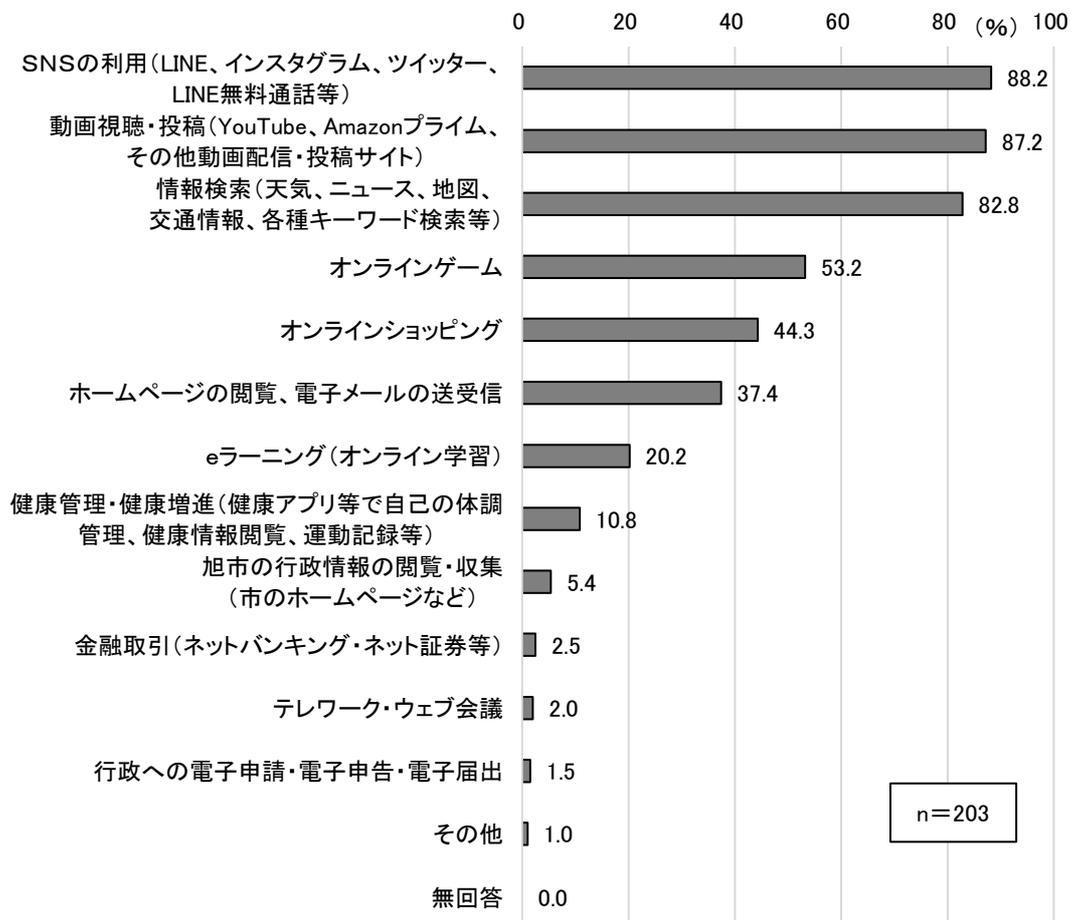
【問 22】 普段どのような目的でインターネットを利用しているかお答えください。
(〇はいくつでも)

※問 20 で「ほぼ毎日利用している」「ときどき利用している」「利用していないが、今後は利用したい」と答えた方が対象

インターネットの利用目的は、「SNSの利用（LINE、インスタグラム、ツイッター、LINE 無料通話等）」が 88.2%で最も高く、次いで「動画視聴・投稿（YouTube、Amazon プライム、その他動画配信・投稿サイト）（87.2%）」、「情報検索（天気、ニュース、地図、交通情報、各種キーワード検索等）（82.8%）」の順となっています。

属性別にみると、「オンラインゲーム」における「男性（67.3%）」、「16 歳（65.8%）」、「オンラインショッピング」における「女性（54.8%）」などが高くなっています。

図表 37 インターネットの利用目的



図表 38 インターネットの利用目的（クロス集計）

（単位：％）

		件数	SNSの利用	動画視聴・投稿	情報検索	オンラインゲーム	オンラインショッピング	ホームページの閲覧、 電子メールの送受信	eラーニング （オンライン学習）	健康管理・健康増進	旭市の行政情報の閲覧・ 収集	金融取引	テレワーク・ウェブ会議	行政への電子申請・ 電子申告・電子届出
全体		203	88.2	87.2	82.8	53.2	44.3	37.4	20.2	10.8	5.4	2.5	2.0	1.5
性別	男性	104	81.7	87.5	78.8	67.3	35.6	33.7	19.2	6.7	5.8	3.8	3.8	1.0
	女性	93	96.8	87.1	87.1	38.7	54.8	41.9	21.5	15.1	5.4	1.1	0.0	2.2
年齢	16歳	79	88.6	87.3	88.6	65.8	41.8	43.0	22.8	7.6	3.8	2.5	1.3	0.0
	17歳	68	91.2	88.2	79.4	42.6	41.2	32.4	19.1	8.8	2.9	1.5	1.5	1.5
	18歳	55	85.5	85.5	78.2	49.1	52.7	36.4	18.2	18.2	10.9	3.6	3.6	3.6

（注）網掛けは、「全体」の水準を10%ポイント以上上回った項目

(5) インターネットを利用した行政情報の収集や行政手続き

【問 23】あなたはインターネットを利用して行政情報の収集や行政手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

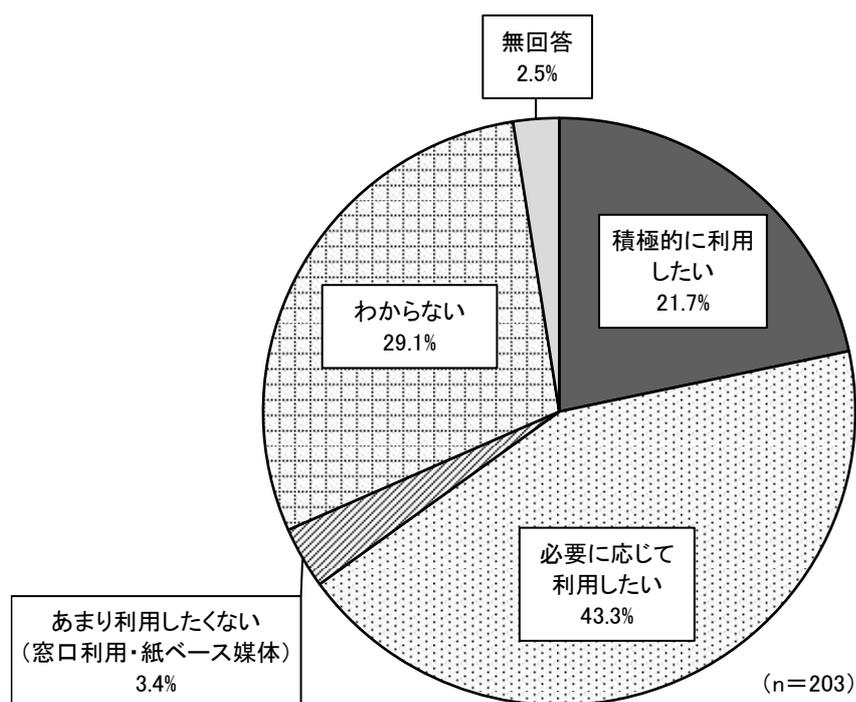
※問 20 で「ほぼ毎日利用している」「ときどき利用している」「利用していないが、今後は利用したい」と答えた方が対象

インターネットで行政情報の収集や行政手続きを行いたいと思うかについては、「必要に応じて利用したい」が43.3%で最も高く、次いで「わからない(29.1%)」、「積極的に利用したい(21.7%)」の順となっています。

属性別にみると、「積極的に利用したい(男性：15.4%、女性：30.1%)」における女性が男性を上回っています。

年齢別では、「積極的に利用したい」における「18歳(27.3%)」、「17歳(23.5%)」などが高くなっています。

図表 39 インターネットで行政情報の収集や行政手続きを行いたいか



図表 40 インターネットで行政情報の収集や行政手続きを行いたいか(クロス集計)

(単位:%)

		件数	積極的に利用したい	必要に応じて利用したい	あまり利用したくない(窓口利用・紙ベース媒体)	わからない
全体		203	21.7	43.3	3.4	29.1
性別	男性	104	15.4	45.2	5.8	29.8
	女性	93	30.1	41.9	1.1	25.8
年齢	16歳	79	16.5	46.8	1.3	30.4
	17歳	68	23.5	36.8	7.4	30.9
	18歳	55	27.3	47.3	1.8	23.6

6. 自由意見

旭市のまちづくりについて、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 基本目標別件数

まちづくりについて、ご意見、ご要望を自由記述形式（回答者数 45 人）でたずねたところ、現行計画の基本目標 1 の「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」に関するご意見が 10 件、基本目標 2 の「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関するご意見が 14 件、基本目標 3 の「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関連するご意見が 15 件、基本目標 4 の「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」に関するご意見が 16 件となっています。

図表 41 まちづくりについてのご意見

基本目標	件数
1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	10
2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	14
3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	15
4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	16

(2) 主な意見（要旨）・キーワード

まちづくりに関するご意見(自由記入)の主な意見(要旨)・キーワードを、基本目標別・施策別に整理しました。

① 基本目標1

基本目標1「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづく」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 商業の振興：大型商業施設や映画館・ROUND1・ベネクス等の若者が興味を持つような店舗・施設を増やしてほしいなど。
- 観光の振興：七夕市民まつりの継続開催（帰郷理由）。
- 雇用の確保：男女問わず仕事ができるまち。

② 基本目標2

基本目標2「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 子育て支援の充実：高校生や専門学校生、大学生に対する経済的な支援が大勢。
- 障害者福祉の充実：障害者と家族が住みやすいまちづくりや障害者に対する理解促進と生活環境の充実など。
- 学校教育の充実：小中学校の英語教育の充実や教職員の資質向上（思いやりとまごころ）など。

③ 基本目標3

基本目標3「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 交流の促進：学生や若者が集まれる場所の充実（特にJR旭駅前市民会館跡地や天神公園の活用について若者の意見を踏まえてほしい）。
- 公園の充実：干潟地区に公園がほしい(子どもたちが休日に遊べる場所が少ない)。
- 居住環境の充実：旭市は治安もよく住みやすい、おひさまテラスの学習スペースはよい、まち全体でゴミ拾いをする日を毎月1回設ける。
- 自然環境の保全：海岸でのバーベキューの取り締まり。
- 広報・広聴・情報公開の充実：旭市公式LINEの登録にInstagramのQRコードを付ける。

④ 基本目標4

基本目標4「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心して暮らしやすいまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 高齢者福祉の充実：老人支援が少ない、旭中央病院近くのイオンタウンに老人ホームができるのはとてもよい。
- 防犯対策・交通安全の強化：外灯の増設、通学路へのガードレール設置、自転車専用道路の整備など。
- 公共交通網の整備：電車の増便、電車の発着にあわせたバスの増便、若者を集めるには商工業の発展と交通機関の整備（若者の一番の不満は交通の便が悪いこと）など。
- 自立のための財政戦略：おひさまテラスは勉強の場として役立つ、コワーキングスペースの利用料金を引き下げてほしい。
- 資産マネジメント：図書館の学習スペースを増やしてほしい。

「旭市の未来を担う若者世代」向けの アンケートへのご協力をお願いします

旭市では、「ず〜っと大好きなまち旭」の実現に向け、人口減少対策、地域経済の活性化に取り組んでいます。

今後のまちづくりに活かすため、未来を担う若者の進路等についてお聞きしたく、平成17年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた方から無作為にお選びしたところ、あなたをアンケート調査の対象とさせていただくことになりました。このアンケートは無記名であり、個別の調査結果も公表いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

調査の趣旨・目的をご理解いただき、「ず〜っと大好きなまち旭」を実現させるため、是非ともご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年8月
旭市長 米本 弥一郎

○ 記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れて
8月21日（月）までにご投函ください。

○ 本アンケートはWEB上でもご回答いただけます。
WEBでの回答をご希望の方は、右のQRコードから、
または下記URLよりアクセスしてご回答ください。
<https://questant.jp/q/KNA85Y33>

【お問い合わせ先】 旭市役所 企画政策課（担当者：高木）
電話：0479-62-5307



◆あなた自身のことについて

【問1】 性別を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない(無回答) |
|-------|-------|----------------|

【問2】 年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 16歳 (H19年4/2~H20年4/1生まれ) | 3. 18歳 (H17年4/2~H18年4/1生まれ) |
| 2. 17歳 (H18年4/2~H19年4/1生まれ) | |

【問3】 現在の就学・就職の状況について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 高校生 | 3. 就職している ⇒ 【問8】にお進みください |
| 2. 専門(専修)学校 | 4. その他() |

◆進路・就職について

【問4】 進路についておたずねします。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 大学や専門(専修)学校等への「進学」を希望している | → 【問5】にお進みください |
| 2. 卒業後に「就職」を希望している | } → 【問8】にお進みください |
| 3. 卒業後に家業を継ぐ(家族従業員) | |
| 4. どれにもあてはまらない | |

【問5】 進学し、卒業したあと、旭市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. ぜひ住みたいと思っている | } 【問6】にお進みください |
| 2. すぐではないが、いつかは住みたいと思っている | |
| 3. 住まないつもり | → 【問7】に進んでください。 |
| 4. 今はわからない | → 【問8】に進んでください。 |

【問6】 【問5】で「1. ぜひ住みたい」「2. すぐではないが、いつかは住みたい」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 生まれ育ったふるさとだから | 5. 親や親戚が望むから |
| 2. 旭市に友人、知人が多いから | 6. 家業を継ぐから |
| 3. 旭市が住みやすいまちだから | 7. 旭市に希望する就職先があるから |
| 4. 親や親戚等の近くで暮らしたい
(一緒に暮らしたい) から | 8. その他() |

【問7】 【問5】で「3. 住まないつもり」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。
(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 旭市に希望する就職先がないから | 6. 旭市に知り合いや友達などの同世代の若者が少ないから |
| 2. 他の地域の方が、今よりも暮らすのに便利そうだから(買い物、娯楽など) | 7. 他に気に入っている地域があるから |
| 3. 公共交通が不便だから(鉄道、バス) | 8. 実家を離れて住みたいから |
| 4. 旭市に魅力を感じないから | 9. その他() |
| 5. 旭市に執着・こだわりがないから | |

【問8】 就職を希望する「地域」はどこですか。(第3希望まで番号をご記入ください)
※【問3】で「3」と答えた方は現在の勤務地を第1希望欄に記入してください。

第1希望 ()	第2希望 ()	第3希望 ()
1. 旭市内	5. 成田市	9. 東京都
2. 匝瑳市	6. 千葉市	10. 東京都・茨城県以外の関東圏
3. 銚子市	7. その他県内	11. その他()
4. 香取市	8. 茨城県	12. 旭市から通える地域であればどこでもよい
		13. 就職できればどこでもよい →問10へお進みください

【問9】 【問8】で第1希望の地域を選んだ理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する就職先の企業がある | 7. 実家から職場に通道できる |
| 2. 親や親戚の勧めがあった | 8. 自分の出身地だから |
| 3. 生活をする上で利便性(公共交通機関、買い物など)が高い | 9. 生活費(家賃、物価等)が安い(安そうだから) |
| 4. 娯楽施設が多く余暇が充実しそうだから | 10. 両親(親戚)がいる |
| 5. そのまちに魅力やあこがれを感じる | 11. 一度、住んでみたい |
| 6. 知らないまちで自分を試してみたい | 12. その他() |

※就学中の方は【問10】へ、就職している方は【問12】へ、それぞれお進みください。

【問10】 将来、あなたが就職を希望する業種は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 農林水産業 | 11. 鉱業・採石業・砂利採取業 |
| 2. 建設業 | 12. 学術研究、専門・技術サービス |
| 3. 製造業 | 13. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 14. 生活関連サービス業(理容、美容など) |
| 5. 情報通信業(IT関連) | 15. 娯楽業(映画館・ゴルフ場など) |
| 6. 運輸業、郵便業 | 16. 教育、学習支援業(学校・幼稚園含む) |
| 7. 卸売業、小売業 | 17. 医療、福祉(保育園含む) |
| 8. 金融業、保険業 | 18. 複合サービス業(農業協同組合など) |
| 9. 不動産業、物品賃貸業 | 19. その他() |
| 10. 公務員 | |

【問 14】 「人口を増やす（出生数増加・移住促進）」ため、また「人口の流出を防ぐ（定住促進）」ため、旭市が今後力を入れるべき支援はどのようなことだと思いますか。（○は5つまで）

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 産業の振興 | 10. 公共交通の充実 |
| 2. 雇用の拡大 | 11. 出会いの場の創出 |
| 3. 移住・定住の支援制度の充実 | 12. 多世代交流の機会の提供 |
| 4. 移住相談窓口の設置 | 13. 生涯活躍のまちづくり ^(注2) のPR |
| 5. 三世同居などへの支援 | 14. 街並みなど住環境の整備 |
| 6. 子育て支援 | 15. 買い物など日常生活の利便性向上 |
| 7. 教育環境の充実 | 16. 農業体験等が簡単にできる仕組み |
| 8. ワークライフバランス ^(注1) の充実 | 17. 何でも相談できる人やコミュニティの充実 |
| 9. 医療・福祉の充実 | 18. その他（ ） |

（注1）ワークライフバランス：働くすべての人々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。

（注2）生涯活躍のまちづくり

- 生涯活躍のまち・みらいあさひは、イオンタウン旭エリアと旭中央病院を核に、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と若年世代の流出抑制・流入促進、及び仕事づくりを実現させ、市全体の活性化につなげるための「新しいまちづくり」です。
- 詳細はホームページ「生涯活躍のまち みらいあさひ」でご確認ください。
（URL） <https://www.miraiasahi.jp>

◆悩みごと、家庭や学校のことについて

【問 15】 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 友人関係 | 7. 家庭の経済的状況 |
| 2. 学業や成績 | 8. 自分と家族の関係のこと |
| 3. 進路 | 9. 家族内の人間関係のこと |
| 4. 部活動 | 10. 病気や障がい、介護が必要な家族のこと |
| 5. 学費など学校生活で必要なお金 | 11. その他（ ） |
| 6. 塾や習いごとに行けないこと | 12. 特にない |

【問 16】 悩みや困りごとについて、相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人はいますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. いる | 3. いない（他人に相談や話はしたくない） |
| 2. いない（誰かに相談や話をしたい） | |

【問 17】 家族の中にあなたがお世話（看病や介護等）をしている人はいますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問18】 【問17】で「1. いる」と回答した人にお聞きします。お世話をしている人はどなたですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1. 母親 | 3. 祖父母 | 5. 弟・妹 |
| 2. 父親 | 4. 兄・姉 | 6. その他 () |

◆デジタル（パソコン・スマホ等）の活用について

【問19】 あなたの世帯で利用している情報通信機器をすべてお答えください。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------------|
| 1. パソコン（インターネット接続可能） | 5. テレビ・家庭用ゲーム機器など
（インターネット接続可能） |
| 2. タブレット端末（インターネット接続可能） | 6. 固定電話 |
| 3. スマートフォン | 7. その他 () |
| 4. 携帯電話（スマートフォン以外） | 8. いずれも保有していない |

【問20】 あなたのインターネットの利用状況を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している | } ⇒ 問21~24 へお進みください |
| 2. ときどき利用している | |
| 3. 利用していないが、今後は利用したい | |
| 4. 利用していないし、今後も利用しない | ⇒最後の自由記入欄にお進みください |

【問21】 【問20】で「1」「2」「3」を選択した方にお聞きします。あなたが利用しているインターネット接続情報機器を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. パソコン（インターネット接続可能） | 3. スマートフォン |
| 2. タブレット端末
（インターネット接続可能） | 4. その他インターネットに接続可能な情報
通信機器（テレビ・家庭用ゲーム機器等） |

第3期旭市総合戦略策定のための
若者世代アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月
旭市